



No.92 2020.11.30

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

“対話によるいい学校づくり=いいまちづくり”に向けて



11月22日の神戸新聞で面白い記事を見つけました。「ICT生かした加古川市将来像」という見出しで市民らが防災や教育議論を行ったという記事です。加古川市では、オンライン上で、施策について市民から意見やアイデアを募り、議論できるシステム「Decidim（デシディム=市民参加型合意形成プラットフォーム）」を立ち上げ、情報通信技術（ICT）の活用で市政の課題解決を目指す「スマートシティ構想」への意見を募っており、そのリアルな対話の場として今回のワークショップ

が企画されたようです。

各コミュニティ・スクールで、これからの学校づくりの柱となる「社会に開かれた教育課程」をデザインするための熟議の方法としてのヒントになるのではと目が留まりました。



(加古川市 HP より)

【市民】⑥GIGAスクールの推進（デジタル教育）

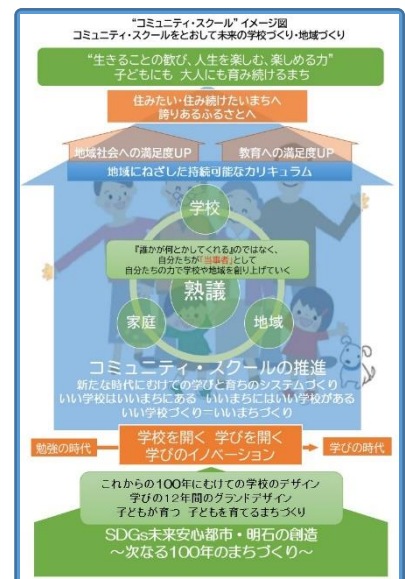
- あるべき姿
 - 個別最適化された学習内容を提供する
 - 登下校の荷物の負担を軽減する
 - 学校園の手続き及びお知らせのデジタル化を図る
 - 高度ICT人材としての業地が構築される
 - ビッグデータ分析により学習効果の向上を図る
- 現状・課題
 - 誰一人取り残すことのない個別最適化された学習の提供が求められている
 - 教材が紙媒体であるため、ランドセルが重たくなっている
 - 年度当初に提出する書類や、子どもが持ち帰るプリントが多く、保護者の負担が大きい
 - プログラミング人材育の重要性が増している
 - 学習履歴等をデータ化し、分析・活用する環境が整っていない
- 短期（～3年）でのアイデア例
 - AI型学習ドリルの活用
 - 1人1台貸与パソコンの持ち帰り
 - 保護者向け資料のデジタル化
 - プログラミング教育の充実
 - デジタル教材の活用
- 中長期（～6年）でのアイデア例
 - 教育ビッグデータの活用
 - マイナンバーカードを利用した学校手続きの電子化・簡略化
 - オンライン図書館の創設
 - ICTを活用した授業の充実

(加古川市 HP より)

今回のワークショップでは加古川市が進める「スマートシティ構想」をベースに「6年後のまちの姿」をテーマに話し合いが行われたそうです。そのベースとなった「スマートシティ構想」の教育にかかわるところには「GIGAスクール構想」があげられ、次のような方向性が示されています。

こうしたテーマをオープンに対話することで、まちを創っていく、地域を創っていく、学校を創っていくという当事者意識が芽生えていくのではと考えます。

明石市が進めるコミュニティ・スクール推進の核となる学校・保護者・地域の三者での熟議（時には子どもたちも含めた）の方法としてこうしたテーマを設定し、コミュニティ・スクールとしてアイデア・意見を募り、オンラインでの対話を積み重ねていく方法もありだと考えます。こうした対話の中で、我々大人自身が、子どもたちのこれからの学びとなる「主体的、対話的な深い学び」を体感し、未来を創り、地域



を支えていく人が育つ“いい学校づくり=いいまちづくり”に参画していただくことにつながっていくのではと思います。

そうした学校・保護者・地域の皆さまの三者の対話を体験してみる場として、“Meet de 対話 Part3” & “Meet de Café Akashi(オンライン対話交流広場あかし)”を企画してみました。学校・保護者・地域の皆さまが同じゴールをめざす新たな一歩を踏み出してみるのはいかがでしょうか。

“Meet de 対話 Part3” & “Meet de Café Akashi”募集中



Meet de 対話Part3
「播磨から仕掛ける『未来の教室』」～「未来の教室」キヤラビム(播磨～)に学ぶ その1
YouTubeURL: https://www.youtube.com/watch?v=7b7Dz_a1uEU
時代が変わる 社会が変わる その中で学校は？

1. 内 容
○ 播磨から仕掛ける『未来の教室』～「未来の教室」キヤラビム(播磨～)に学ぶ その1
○ 最新のニュースに、今後の教育の方向性について対話をおこないます。

2. 対 象 明石市立学校園教職員 市民の皆さま

3. 日 時
①令和2年12月8日(火) ②令和2年12月15日(火) ③令和2年12月22日(火)
各回15時30分～16時30分
※③のみよりご都合の良い日をお選びください。(各回定員15名程度)
(定員超過の場合は受け付けさせていただきます。)

4. 実施方法
○タブレットを使用してのMeetによるオンライン対話。
※Meetでリアルタイム参加の場合はご連絡ください。

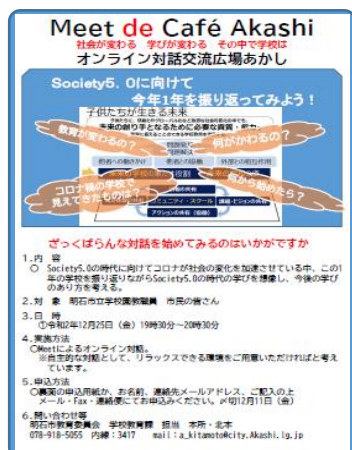
5. 申込方法
○ Meetの申込用紙か、お名前・連絡先メールアドレス・参加希望日をご記入の上、メール・Fax・電話にてお申込みください。①切11月30日(月)

6. 問い合わせ等
明石市教育委員会 学校教育部 担当 本所・北本
079-918-5555 内線：3417 mail : a.kitamoto@city.akashi.lg.jp

“Meet de 対話 Part3”

- ①日 時 12月8日(火)・12月15日(火)・2年12月22日(火)
各回15時30分から16時30分
希望の日をお選びください。(各回定員15名程度)
対話を深めるために3回連続での参加も大歓迎です。
- ②参加対象 明石市立学校園教職員 市民の皆さま
- ③実施方法 Meet によるオンライン対話
- ④申込方法 Meet de 対話参加希望・お名前・連絡先メールアドレス・参加希望日をご記入の上、北本まで

締め切り11月30日(月)



Meet de Café Akashi
社会が変わる 学びが変わる その中で学校は
オンライン対話交流広場あかし

Society5.0に向けて
今年1年を振り返ってみよう！
子供たちが生きる未来
未来の学びとなるための必要な知識、今後の学び
教育が変わるの？ 何がかわるの？
コロナ禍の学校
見えてきたもの？

1. 内 容
○ Society5.0の時代に向けてコロナが社会の変化を加速させている中、この
1年の学校を振り返りながらSociety5.0の時代の学びを模索し、今後の学び
のあり方を考える。

2. 対 象 明石市立学校園教職員 市民の皆さま

3. 日 時
①令和2年12月25日(金)19時30分～20時30分

4. 実施方法
○ Meetによるオンライン対話。
※色んな対話として、リラックスできる環境をご用意いただければと考えて
ています。

5. 申込方法
○ Meetの申込用紙か、お名前・連絡先メールアドレス・ご記入の上
メール・Fax・電話にてお申込みください。①切11月11日(金)

6. 問い合わせ等
明石市教育委員会 学校教育部 担当 本所・北本
079-918-5555 内線：3417 mail : a.kitamoto@city.akashi.lg.jp

“Meet de Café Akashi(オンライン対話交流広場あかし)”

- ①日 時 令和2年12月25日(金)19:30～20:30
- ②実施方法 Meet によるオンライン対話
- ③参加対象 明石市立学校園教職員 市民の皆さま
- ④申込方法 Meet de Cafe 参加希望・お名前・連絡先メールアドレス
をご記入の上、北本まで

締め切り12月11日(金)

a_kitamoto@city.akashi.lg.jp FAX:078-918-5111

情報提供(タブレットの導入に向けて)



16TH. MAY 2020
**COVID-19でも
学びを止めない**
オンライン学習実施や
運用規定のポイント
豊福 晋平 准教授 国際大学GLOCOM

<https://www.youtube.com/watch?v=pLsRb1JJ-cA&t=487s>

動画もあわせて視聴されると実物が手元に来る前に、学校関係者だけでなく保護者の皆さまにも心の準備ができるのではと思います。

「未来の学び」チャンネルの動画です。“播磨から仕掛ける『未来の教室』”でも登壇された豊福先生のプレゼンです。コロナ禍で明らかになったデジタル面からみた日本教育の課題、情報端末が一人一台になる意義、情報端末が本当にいきる学習環境面づくりなどをわかりやすく説明されています。視聴時間は42分程度です。播磨から仕掛ける「未来の教室」でのプレゼンだけでなく、この

(文責:北本)